

バラツル、酒ト互ニ相助ル事奇異ナリ、是亦本草ニ出タリ、一本ヨリ苗多ク生ズレバ長ジガタシ、一條ヲノコシテ餘ハ切ベシ、

〔物類品隲<sup>三</sup>〕紫藤 和名フヂ、山野ノモノ花短シ、ノフヂト云、攝津野田産上品、花至テ長シ、紫花白花二種アリ、漢種粉紫花ノモノアリ、希品ナリ、壬午主品中田村先生具之、一種深紫色重瓣ノモノアリ、至テ希品ナリ、府中侯園中ニアリ、

〔重修本草綱目啓蒙<sup>十五</sup>〕紫藤 フヂ サノカタノハナ 古歌 ムラサキグサ マツミグサ フ

タキグサ マツナグサ 同上 一名朱藤 夢溪補筆談 藤花菜 救荒本草

人家ニ栽テ花ヲ賞スルフヂナリ、年久シキ者ハ藤甚大ニシテ木ノ如シ、處處ニコブアリ、フヂコブト云フ、和方書ニ藤苧ト云フ、花ニ紫白ノ二色アリ、紫花ノ者ハ培養ニヨリテ、穂ノ長キコト五六尺ニ至ル、白花ノ者ハ穂短ク、開クコト早シ、葉ハ紫花ノ者ヨリ大ニシテ厚シ、一種漢種ノ紫藤アリ、色淺シ、又一種重瓣ニシテ深紫色ナル者アリ、凡山野自生ノ者ハ花穂短シ、コレヲノフヂト云フ、攝津野田ノ産ヲ上品トス、花穂長シ、コレヲ野田フヂト云、嫩葉蔬トナシ、飯トナシ食フ、花モ亦食フベシ、其實莢ヲナス、形刀豆<sup>ナタマメ</sup>如クシテ小ク、内ニ圓扁ナル豆アリ、棋子ノ形ノ如シ、燒食ヘバ味栗ノ如シ、又一種ドヨウフヂアリ、一名ナツフヂ、山野ニ自生多シ、葉至テ小ク、色淺シ、六月花ヲ開ク、形小ニシテ黄白色、穂長サ四五寸、後莢ヲ結ブ、長サ三四寸、

〔草木育種<sup>下</sup>〕紫藤<sup>美花</sup> 攝津國野田の藤は長さ四五尺に至る、常の野ふじとは別なり、又花大にして短ものあり、又白ふじあり、又土用ふじは葉も花も小し、三月頃きり接<sup>つぎ</sup>にしてよし、又根を掘採て砧<sup>たね</sup>とするもよし、人糞に酒粕をませ根廻へ入べし、夏中細長き蔓を多出すとき、その蔓を刈べし、

〔剪花翁傳<sup>三月</sup>〕開花<sup>藤</sup> 花紫白、開花三月末より四にかけて咲、方日向、地濕土えらばず、肥大便寒